

令和3年度スーパーサイエンスハイスクール生徒研究発表会 8月4日（水）神戸国際展示場

3年生理数科課題研究数学班の3名が、兵庫県神戸市の神戸国際展示場で行われた令和3年度スーパーサイエンスハイスクール生徒研究発表会に参加してきました。「火災時における最適な避難経路」というテーマに取り組んできたこの班は、本校の従来の避難経路をExcelを用いたセルオートマトンによって分析し、全校生徒がより短時間で避難を完了できる新たな経路の策定に成功しました。今回の発表会では1年以上にわたって取り組んできたこの研究をポスターセッションの形で発表しました。また、他校の発表を見学する時間では、同じくセルオートマトンを用いて校内の生徒の混雑解消に取り組む他校の発表を聞き、意見交換をすることができた上に指導しておられる先生のご厚意により研究データをいただいで帰ることもできました。継続研究に取り組む後輩たちにとって最高のお土産となりました。

参加生徒の感想

- ・まず、このコロナ禍においてSSH生徒研究発表会に参加できたことに感謝します。ポスター発表で自分たちの研究成果を発表させていただきましたが、他校のポスターはとても洗練されたものが多く、驚きと発見の連続でした。全国との差をまざまざと見せつけられる発表会となりましたが、それも含めて良い経験になりました。この経験を糧にこれから頑張っていきたいと思えます。
- ・コロナ禍の中、このように全国大会を開催していただいたことに感謝しています。同じ学年の人とお互いの研究を発表しあい、科学について語ることはとても貴重な経験となりました。発想力豊かな研究や、人工知能AIを駆使した研究もあり、一つ一つの研究を見るのがとても面白く、不思議と感動でいっぱいでした。また、自身の発表に関しては、最初は緊張しましたが、徐々に雰囲気慣れていき納得のいく発表をすることができました。このような大会に参加できて幸せでした。これからは、課題発見能力ないし課題解決能力を高めていき、未来を担えるような科学者となれるようによりいっそう精進していきます。
- ・全国大会ではとても大きな収穫を得ることができました。全国という事もあり、レベルの高い研究をしている高校生が多く、楽しく有意義な時間を過ごす事ができました。また、自分たちの発表では少し緊張しましたが、これまで行ってきた研究についてしっかりとプレゼンすることができて良かったです。コロナ禍での発表会の開催も含め、貴重な体験をありがとうございました。

出発直前にまん延防止等重点措置が兵庫県にも適用され、若干の不安を抱えながらの出発となりましたが、やはり全国のSSH指定校が一堂に会するこの会では、オンラインでは得られない学びが数多くありました。現地での参集開催にご尽力いただきました関係者の皆様、ありがとうございました。

